

城北図書館連携企画

「アフリカの楽器を知ろう、遊ぼう、楽しもう！」

8月3日(土)、城北図書館との連携企画で講座を行いました。講師には、アジアを拠点に演奏活動や音楽療法、ワークショップ等をされているロビン・ロイドさんをお迎えしました。

まず、図書館司書の方による絵本「アフリカの音」の読み聞かせがありました。特別にロビンさんによる即興演奏付きで楽しみ、絵本の色彩もより鮮やかに感じられました。その後はロビンさんの演奏やお話を聴いたり、楽器の体験をしたりして、アフリカの音楽や人々への想像を膨らませました。

今回の参加者は幼児から大人まで幅広く、人によって様々な反応が見られたのも印象的でした。ある音を「良い音だ」と思う人もいれば、「変わった音だ」と思う人もいます。参加者それぞれが自由な感性で楽しめる講座になったと思います。

日時：令和元年8月3日(土)
10:30～12:00
会場：浜松市立城北図書館
講座室
講師：ロビン・ロイド
受講者：31人



浜松科学館との共催事業

「手作りギターを作って演奏しよう！」

芸術の秋が間近に迫る9月29日(日)、浜松科学館、CNS浜松との共催でワークショップ「手作りギターを作って演奏しよう！」を、科学館モノづくりラボにて開催しました。当日は大学生やヤマハのボランティアの方々にもご協力いただき、身近な素材「段ボール紙」からギターを作りました。竹ひごを小さくカットしたフレットを木の棒に糊付けてネックを作り、好きな形に切り抜いたボール紙の胴体に取り付けました。完成後、子どもたちは真剣な表情で練習し、自慢のギターで「きらきら星」を披露しました。音の仕組みを勉強しながら、楽器の構造や工夫点など、多くを学んでもらえたワークショップとなりました。

日時：令和元年9月29日(日)
10:00～12:00
14:00～16:00
会場：浜松科学館
モノづくりラボ
技術協力：ヤマハ株式会社
共催：浜松科学館、
CNS 浜松
受講者：45人



浜松市

楽器

博物館

No.130

2019.11.18

だより

CIMCIM 一行が来館！！

ICOM・国際博物館会議

京都大会の一環で



ICOM 京都大会メイン会場



CIMCIM 委員会



CIMCIM メンバーが浜松を訪問



地無し尺八と太助等のコンサート

9月1日(日)から7日(土)まで、ICOM(国際博物館会議)の世界大会が京都で開催されました。3年に一度、世界の博物館関係者が集う国際会議で、今大会には過去最多の120の国と地域から4,590名が参加しました。メインテーマは「文化をつなぐミュージアム—伝統を未来へ—」。秋篠宮両殿下のご臨席のもと開会式が行われ、隈研吾氏をはじめとする世界的な建築家や芸術家の方々が基調講演を行いました。全体会合では、「博物館による持続可能な未来の共創」、「博物館定義の再考」、「被災時の博物館」、「世界のアジア美術とミュージアム」の4テーマについて議論されました。

ICOMには、博物館の様々な専門分野に即して組織された30の国際委員会があり、世界の博物館関係者が多様なテーマで議論を行いました。当館はCIMCIM(楽器と音楽の博物館・コレクション国際委員会)に所属しており、今大会では日本を代表して、準備と司会進行や各博物館からの事例発表を取りまとめました。9月6日(金)には、CIMCIMのメンバーのうち、王立音楽大学楽器博物館(ロンドン)や、メトロポリタン美術館

(ニューヨーク)、ドイツ博物館(ミュンヘン)などの専門家28名が浜松市を訪問し、当館を見学。入ってすぐの煌びやかなアジア楽器の展示が、大変好評を博しました。続いて、ヤマハイノベーションロード、ヤマハ豊岡工場、カワイ竜洋工場を訪問し、浜松の楽器産業への理解を深めました。最後は、アクティシティ浜松の音楽工房ホールにて、日本の伝統楽器、地無し尺八(自然の形状をそのまま活かして製作された尺八)と絹弦を張った箏によるコンサートを鑑賞。尺八を演奏した志村先生によると、『西洋の楽器は耳で聞こえる音域の美しさを目指したものです。尺八の音色は耳に聞こえる音域以外もあえて演奏しており、耳で聞こえなくとも細胞で感じることができる。』そうです。CIMCIMのメンバーは、日本の伝統音楽を、耳で聞き、肌で感じ、浜松の文化・産業を堪能して京都へと戻りました。

大会最終日には、最大の焦点である「博物館定義の再考」について活発な議論が展開されましたが、採択が延期となり、3年後に開かれるプラハ大会までは、現在のままとなる見通しです。

博物館日誌

- 7/2(火)～7/5(金) 移動博物館 浜松市立富塚西小学校
- 7/7(日) 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤楽器) 参加者:24人
ミュージアムサロン「アंकクルン」 14:00/15:30
出演:当館職員 入場者:89人
- 7/14(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アフリカ)/14:00(ヨーロッパ)
参加者:55人
- 7/21(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アジア)/14:00(ヨーロッパ)
参加者:38人
- 7/25(木)～9/23(月) ミニ企画展「沖縄の誇り・三線」 楽器博物館展示室
入館者:22,746人
- 7/25(木) ミュージアムサロン「バロック・アンサンブル」
14:00 出演:柴田俊幸(トラヴェルソ) 戸田薫(ヴァイオリン)、
戸崎廣乃(チェンバロ)、高橋弘治(チェロ) 入場者:61人
- 7/28(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アジア)/14:00(鍵盤楽器)
参加者:46人
- 8/1(木)～9/23(月) 企画展「楽器と植物・楽器と動物」 楽器博物館展示室
入館者:20,857人
- 8/3(土) 城北図書館連携企画「アフリカの楽器を知ろう、遊ぼう、
楽しもう！」 10:30 浜松市立城北図書館講座室
講師:ロビン・ロイド 受講者:31人
- 8/4(日) 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤楽器)/14:00(アジア)
参加者:42人
- 8/7(水) ミュージアムサロン「 Hammondオルガン」 14:00/15:30
出演:浅野仁 入場者:99人
- 8/7(水)～8/8(木) 中堅教諭等資質向上研修 小学校教員1人
- 8/9(金) 子どもワークショップ 2019静岡県博物館協会地域セミナー
「インドネシアの絵人形“ワヤン・クリ”を作って芝居をしよう！」
13:00 楽器博物館展示室 講師:インドネシア伝統芸能団
ハナジョス(ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実)
受講者:6人
- 8/10(土) ミュージアムサロン「インドネシアの伝統芸能“ワヤン・クリ”」
13:15/14:00/14:45/15:30 出演:インドネシア伝統芸能団ハナ
ジョス(ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実)
入場者:217人
- 8/11(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アジア) 参加者:39人
ミュージアムサロン「沖縄の胡弓と三線」 14:00/15:30
出演:又吉恭平 入場者:330人
講話「三線」 14:40 講師:仲嶺幹 入場者:110人
三線体験会 10:30/12:30/14:00/15:30 講師:福山研二
受講者:24人
- 8/16(金)～17(土) 職場体験(静岡県立湖西高等学校) 1人
- 8/17(土) ミュージアムサロン「パラグアイのアルパ」 14:00/15:30
出演:グルーボ エスカーラ【長島忠之(アルパ)、パブロ・
テロネス(ギター&チャランゴ&ケーナ)、田中淳子(パンフ
ルード)、杉山由利子(キーボード)、櫻井壮憲(ギタロン)】
入場者:112人
- 8/18(日) 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤楽器)/14:00(ヨーロッパ)
参加者:96人
- 8/19(月)～8/25(日) 学芸員実習 8人
- 8/20(日) ミュージアムサロン「アंकクルン」 14:00/15:30
出演:当館職員 入場者:77人
- 8/22(木) 学芸員実習生によるミュージアムサロン「アंकクルン」
14:00/15:00 出演:学芸員実習生8人 入場者:80人
- 8/24(土) 子どもワークショップ「一休さんも吹いた笛・小さな尺八
“一節切(ひとよぎり)”を作って演奏しよう！」
13:30 研修交流センター 36音楽セミナー室
講師:相良保之 受講者:15人
- 8/25(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アフリカ)/14:00(ヨーロッパ)
参加者:89人
- 8/26(月) ミュージアムサロン「室内楽コンサート」 14:00/15:30
出演:ジュニアオーケストラ浜松 入場者:98人

- 9/1(日) 展示室ガイドツアー 11:00(ヨーロッパ)/14:00(鍵盤楽器)
参加者:67人
- 9/6(金) CIMCIM(楽器と音楽の博物館・コレクション国際委員会)エ
クスカーション コンサート「地無し尺八と太助等」
17:40 研修交流センター音楽工房ホール
出演:志村哲(尺八)、てん仁智(箏) 入場者:28人
- 9/7(土) ミュージアムサロン「地無し尺八と太助等」 11:00/14:00
出演:志村哲(尺八)、てん仁智(箏) 入場者:110人
- 9/8(日) 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤楽器)/14:00(アフリカ)
参加者:38人
- 9/14(土) ミュージアムサロン「アंकクルン」 14:00/15:30
出演:当館職員 入場者:85人
- 9/15(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アジア)/14:00(鍵盤楽器)
参加者:44人
- 9/16(月) 三線体験会 10:30/12:30/14:00/15:30 講師:福山研二
受講者:24人
- 9/22(日) 展示室ガイドツアー 11:00(ヨーロッパ)/14:00(アジア)
参加者:87人
- 9/23(月) ふじのくに子ども芸術大学講座
「インドネシアの伝統楽器ガムランを演奏しよう！」
10:00 研修交流センター音楽工房ホール
講師:ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実、西岡美緒
受講者:19人
- 9/29(日) ワークショップ「手作りギター教室」 10:00/14:00
浜松科学館モノづくりラボ 共催:浜松科学館、CNS 浜松
講師:(株)ヤマハボランティアスタッフ 受講者:45人
展示室ガイドツアー 11:00(アジア)/14:00(アフリカ)
参加者:30人

ギャラリートーク

(職員が毎日数回、展示品をひとつ選んで10分ほど解説)
7月 計106回 参加者:1,391人
8月 計104回 参加者:2,564人
9月 計97回 参加者:1,292人

これからの催し物

- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります
- ミニコンサート 天空ホール 不定期開催
11/24(日)「アンサンブル・ムジック女声合唱団ミニコンサート」
14:00/16:00 出演:アンサンブル・ムジック女声合唱団、
仁科岡彦(指揮)、稲垣英子(ピアノ)
- 12/15(日)「クリスマスコンサート」14:00/15:30(合唱)、14:45(フルート
&オーボエ) 出演:浜松ライオネット児童合唱団、初村則子
(指揮)、松尾圭子(フルート)、宮村和宏(オーボエ)
- レクチャーコンサート
11/14(木)「よみがえった金属弦アイリッシュ・ハーブ
～鉄の弦・真鍮の弦・銀の弦～」
19:00 天空ホール 出演:寺本圭佑
- 講座・ワークショップ
2/22(土)大人向けワークショップ
「小さな尺八」一節切(ひとよぎり)づくり
13:30～16:00 アクティシティ浜松研修交流センター
講師:相良保之

浜松市楽器博物館だより

令和元年11月18日発行 No.130 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <http://www.gakkihaku.jp/>

ミニ企画展「三線」とミニコンサート・体験会

平成 30 (2018) 年 11 月に国の伝統工芸品に指定された「三線 (サンシン)」。これを記念し、ミニ企画展「沖縄の誇り 三線」を開催しました。

三線は伝統的に 7 つの型があり、今回はすべてが勢揃いし、重厚で見ごたえがある展示になりました。

期間中、関連イベントとして講話とミニコンサート、三線体験会を開催しました。

講話では、三線の歴史や作り方、抱える問題や組合の取り組みなどをお話いただき、ミニコンサートでは、三線に加えて胡弓 (クーチョー) や三板 (サンバ) を演奏していただきました。琉球古典音楽から島ごとの民謡まで演奏していただき、沖縄音楽の魅力に惹きこまれました。“初心者でも 30 分で「ていさぐぬ花」を演奏できるようになる”という謳い文句の体験会は、参加者の上達が著しく、気付いたら参加した皆さんが曲を口ずさみながら、三線をつまびいていました。

「みる・きく・ふれる」が充実しており、三線の魅力を十二分に伝える事ができた企画となりました。

ミニ企画展「沖縄の誇り 三線」
会期：令和元年 7 月 25 日 (木) ～ 9 月 23 日 (月)
会場：楽器博物館展示室
協力：沖縄県三線製作事業協同組合 会期中入館者：22,746 人
ミュージアムサロン「沖縄の三線と胡弓」
日時：令和元年 8 月 11 日 (日)
14:00、15:30 (演奏各 30 分)、14:40 ～ 15:20 (講話)
演奏：又吉恭平 / 講師：仲嶺幹 参加者：330 人

三線体験会
日時：令和元年 8 月 12 日 (月)、9 月 16 日 (月)
10:30、12:30、14:00、15:30 (各 30 分)
講師：福山研二 受講者：合計 48 人



夏休みミュージアムサロン・ミニコンサート

7 月 25 日は柴田俊幸さん、戸田薫さん、戸崎廣乃さん、高橋弘治さんによるバロック・アンサンブルを開催しました。曲は J.S. バッハがフリードリヒ大王に献上したといわれる「音楽の捧げもの」からトリオ・ソナタなどを演奏していただきました。優雅な響きに心を奪われる午後のひと時となりました。

8 月 7 日は浅野仁さんによる Hammond・オルガンの演奏。浅野さんに寄贈していただいた Hammond・オルガン X-77 などを使用し、「我が心のサンフランシスコ」などを演奏していただきました。Hammond・オルガンの魅力を存分に味わう時間となりました。

8 月 10 日はインドネシア伝統芸能団ハナジョスに出演していただき、世界遺産にもなっているインドネシアの伝統的な影絵芝居ワヤン・クリを開催しました。ゆったりとした音楽と迫力のある人形捌きに、子どもたちだけでなく大人も興味津々な様子でした。

8 月 17 日はアルパ奏者の長島さん率いる、グルーポ エスカーラの演奏。帰省中と思われるご家族連れのお客様が多く、さまざまな年代のお客様が、陽気でどこか哀愁の漂う南米の音楽に足を止めていたのが印象的でした。

8 月 26 日は、ジュニアオーケストラ浜松団員による室内楽コンサート。ジュニアオーケストラ浜松は、市内の小中高生約 90 名により構成されているオーケストラです。

今回はホルンアンサンブル、弦楽四重奏、フルートアンサンブルで、ポップスやバレエ曲などを演奏していただきました。素敵な演奏と子どもたちの明るい雰囲気、お客様も笑顔で楽しんでいました。

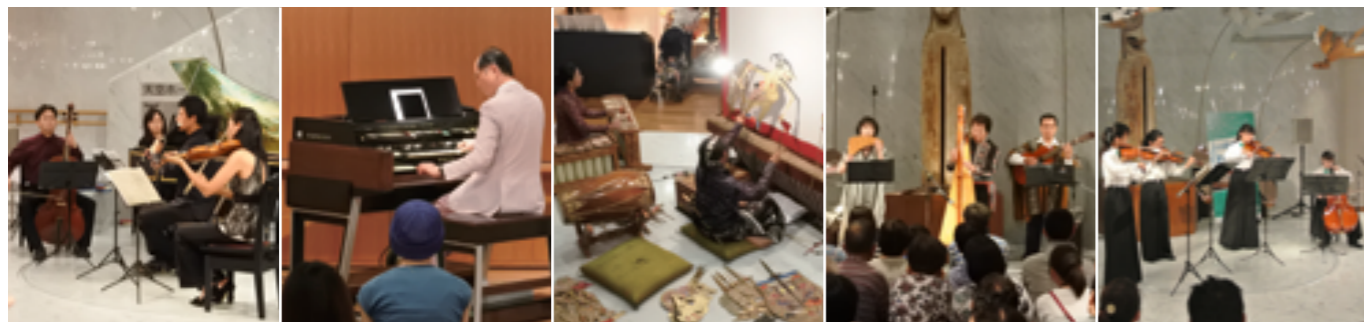
ミュージアムサロン「バロック・アンサンブル」
日時：令和元年 7 月 25 日 (木) 14:00
出演：柴田俊幸 (トラヴェルソ)、戸田薫 (ヴァイオリン)、戸崎廣乃 (チェンバロ)、高橋弘治 (チェロ) 入場者：61 人

ミュージアムサロン「Hammond・オルガン」
日時：令和元年 8 月 7 日 (水) 14:00、15:30
出演：浅野仁 入場者：99 人

ミュージアムサロン「インドネシアの影絵芝居“ワヤン・クリ”」
日時：令和元年 8 月 10 日 (土) 13:15、14:00、14:45、15:30
出演：インドネシア伝統芸能団ハナジョス (ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実) 入場者：217 人

ミュージアムサロン「パラグアイのアルパ」
日時：令和元年 8 月 17 日 (土) 14:00、15:30
出演：グルーポ エスカーラ【長島忠之 (アルパ)、パブロ・テロネス (ギター&チャランゴ&ケーナ)、田中淳子 (パンフルート)、杉山由利子 (キーボード)、櫻井壮憲 (ギター)】 入場者：112 人

シリーズ音楽の広場「室内楽コンサート」
日時：令和元年 8 月 26 日 (月) 14:00、15:30
出演：ジュニアオーケストラ浜松 入場者：98 人



子どもワークショップ 2019 静岡県博物館協会地域セミナー

「インドネシアの影絵人形“ワヤン・クリ”を作って芝居をしよう！」



日時：令和元年 8 月 9 日 (金) 13:00 ～ 16:00
会場：楽器博物館 展示室
講師：インドネシア伝統芸能団ハナジョス (ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実) 受講者：6 人

8 月 9 日 (金)、子どもワークショップ「インドネシアの影絵人形“ワヤン・クリ”を作って芝居をしよう！」を開催しました。

前半は、物語のキャラクターたちが印刷されたボール紙から 1 枚選び、講師の指導を受けながらボール紙を切り抜いて、オリジナリティいっぱいの影絵人形を作りました。そばで見守っていたご家族の皆さんも作業のお手伝いに熱中し、会場は小さな職人さんたちの熱気に包まれました。後半には製作した影絵人形が登場する物語を講師が即興で作り上げ、講師によるガムラン伴奏に合わせて影絵芝居を上演しました。長丁場でも最後まで楽しそうなお子さんたちの姿が印象的なワークショップとなりました。

子どもワークショップ

「一休さんも吹いた笛 小さな尺八“一節切”を作って演奏しよう！」

8 月 24 日 (土)、古典尺八演奏家の相良保之さんをお迎えして「一節切 (ひとよぎり)」の子ども向けワークショップを開催しました。

冒頭に行われた先生による一節切のレクチャーでは、名前の由来や歴史などをお話していただきました。また様々な種類の日本の竹笛を持ってきていただき、いくつかの音色を聞かせていただきました。

一節切づくりでは、竹をノコギリで切って、キリや電動ドリルで指孔をあける作業も子どもたち自身で行い、完成後は実際に一節切の音を出してみました。最初は苦戦していましたが、先生の吹き方を見てまねをするうちに、音が出せるようになったお子さんもいらっしゃいました。長時間でしたが集中を切らすことなく、充実したワークショップとなりました。



日時：令和元年 8 月 24 日 (土) 13:30 ～ 16:00
場所：研修交流センター 36 音楽セミナー室
講師：相良保之 (古典尺八研究・演奏家)
受講者：15 人

ふじのくに子ども芸術大学講座

「インドネシアの伝統楽器“ガムラン”を演奏しよう！」

9 月 23 日 (月)、ふじのくに子ども芸術大学講座「インドネシアの伝統楽器“ガムラン”を演奏しよう！」を開催しました。このワークショップは小学 3 年生から 6 年生を対象としたもので、インドネシア・ジャワ島のガムランを体験し、最後には当館展示室で発表をするという内容です。参加した子どもたちは、最初は緊張した面持ちでしたが次第に慣れていき、途中楽器の交代をさみながら繰り返し何度も練習を行いました。またガムランだけではなく、講座の合間には舞踊やアングルの体験も行いました。最後の演奏発表ではアングルとガムランの堂々とした演奏を披露し、居合わせた来館者から大きな拍手をいただくことができました。

日時：令和元年 9 月 23 日 (月・祝) 10:00 ～ 16:00
場所：研修交流センター 音楽工房ホール
講師：インドネシア伝統芸能団ハナジョス (ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実)、西岡美緒 受講者：19 人

